

# ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは  
サンスクリット語で  
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

## 基本理念

わたしたちは、地域の中核病院として  
皆さんの健康を守るために、質の高い医  
療を提供し共に歩みます。

## 基本方針

- 患者さんの人権と権利の尊重
- がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- 地域の医療保健機関、介護福祉施設との連携強化並びに地域完結型医療の確立
- 職員の働きやすい職場づくり

H.29  
6/1 thu.

## 南加賀地区地域医療連携講演会を開催しました。



去る6月1日、ホテルサンルート小松を会場に、ふれあい歯科ごとう・新宿食支援研究会 代表五島朋幸(ごとうともゆき)先生をお招きして、「食べることで生きること～最期まで口から食べられるために～」をテーマに講演会を開催し、南加賀地区の医療関係者162名の参加をいただきました。

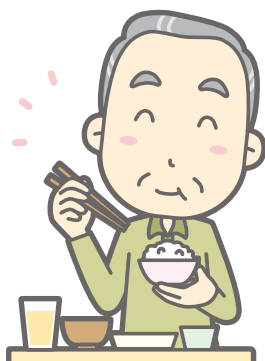
五島先生は訪問歯科診療を始めて20年。訪問件数は約2万件になるとのことでした。先生が訪問歯科診療を始められたきっかけや、訪問歯科診療の役割と実際についてお話がありました。

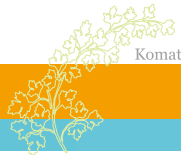
咀嚼とは何か、嚥下するために必要な機能は何か。食べられないのは咀嚼障害なのか嚥下障害なのかを食べ方を観察し、障害に応じて食べられるようアプローチしていることのことでした。

また、在宅で嚥下障害といわれている人の約5割は咀嚼障害とのことで、新宿食支援研究会では食事の場面での問題点を分析し、食形態判定表を作成し、多職種で在宅での食支援を行っているとのことでした。

食べられなかった方に食支援で介入することにより、自分で食事ができるようになった事例が動画で紹介され、会場からは驚きの声が上がりました。

講演後のアンケートでは、咀嚼障害、嚥下障害の区別の重要性や、「食事が出来ないと思っていた人が普通に食べられるようになる様が、まるでマジックに見えました。」との感想がありました。





## 小松市民病院では看護教育に 一生懸命取り組んでいます!

### 1. 新人看護師を育てるために中心的な役割を担っています。

「基本的な看護技術を身につけ、安全で心温まる看護を提供できる看護師を育成します。」

看護に必要な技術の習得支援とメンタルサポートを行い、一人ひとりの成長に応じた教育支援を目指します。

### 2. 専従の教育担当看護師長1名と実習指導担当看護師1名がいます。

### 3. 主に行っていること

#### 〈新人1年目～3年目看護師の育成〉

- 1年間の集合研修の運営全般（企画・実施・評価）
- 配属部署の教育活動を円滑に進めるための支援と援助、指導
- 精神面のサポート

精神科看護認定看護師による研修もあります。随時、相談もOK。研修は**公開研修**とし、近隣の病院からも多くの参加があります。皆仲良く、顔が見える関係となり、コミュニケーションも広がっています。



採血の演習



吸引の演習

#### 〈学習環境の整備〉

- 「eラーニング」学習：自分のパソコン・スマホでできる! いつでもどこでも好きな時に何度でも学べます。
- 「人体模型の活用」：静脈Vライン(採血が練習できる。)等 医師・看護師・技師など様々な職種の方が使用し、スキルアップを目指して頑張っています。看護部の目標であります「急変対応能力の強化」を図るため、レサシアン(心肺蘇生用)人形は大活躍中!

#### 〈臨地実習の調整と支援・指導〉

- 複数の看護学校の学生を受け入れています。
- 実習指導担当看護師はベテラン看護師で、看護学生が頼りにする一番近い存在として支援しています。

新人看護師の成長を小松市民病院職員全体で支援していけるよう取り組んでいきます。

看護教育推進担当(研修責任者) 紺谷 幸子





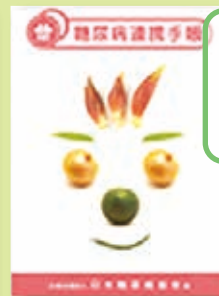
## 認定看護師からのミニトピックス

# 糖尿病連携手帳を活用しよう♪♪

毎月の検査結果を記入します。

糖尿病の判断基準や合併症の説明も記載されています。

患者さんや医療スタッフが目標や実施した療養指導について記入します。



歯科・眼科の検査結果を記入します。

合併症検査結果を記入します。

糖尿病連携手帳に自分でも記入し、常に携帯しましょう!(^^)!

糖尿病連携手帳は、患者さんが検査結果を記入することや、確認することで自分の身体を見つめる機会となり、自分の身体を気遣うことにつながります。

また、糖尿病連携手帳を活用することで、病院とかかりつけ医、そして眼科や歯科との間で患者さんの身体の状態を共有することができます。さらに、看護師をはじめ、医療スタッフの支援内容も記載することができるため、地域の医療機関と連携して、糖尿病患者さんと一緒に歩んでいくことにつながります。



看護外来です。  
ここで支援を行っています。



糖尿病は慢性疾患であり、患者さんが糖尿病とともに歩む人生に寄り添い、患者さんの思いに耳を傾け、患者さんと一緒に考えながら、療養生活をよりその人らしく過していけますよう日々心がけています。

糖尿病看護認定看護師 山本恵美子



## リエゾンチームとは？



こんにちは！  
精神科認定看護師の北由希です。  
今回は、私の仕事「リエゾンチーム」について  
お話しさせていただきます。

身体が  
つらいと  
心も  
つらい  
もんね

### リエゾンチームとは？

患者さんの疾病内容の複雑化やそれに伴う医療の高度化などから、様々な病気で入院している患者さんや患者さんに寄り添う御家族の皆さんに対し、迅速で手厚い「心のケア」が必要とされるようになってきています。リエゾンは「つなぐ」「連携する」「橋渡しをする」という意味があります。リエゾンチームは、身体的医療と精神医療をつなぐという役割を担っています。



### 合言葉は

「ともに」



### チームメンバー

精神科医、作業療法士と精神科認定看護師の主力メンバーに加え、精神保健福祉士、臨床心理士、精神科薬剤師をサブメンバーとしています。

リエゾンチームは、単独チームとして機能するだけでなく、各病棟看護師や緩和ケアチーム、認知症ケアチームなど院内の様々なチームと協働し、患者さんや御家族の皆さんと「ともに」歩むチームを目指しております。

精神科認定看護師 北 由希

## topics

トピック

### 緩和ケア病棟 夏祭り

8月2日水曜日の午後、小松市民病院緩和ケア病棟のラウンジで、毎年恒例の夏祭りが開催されました。

今年はハワイアンをテーマに、緩和ケア病棟ボランティアの皆さんの御協力でラウンジが南の島ハワイになりました。

患者さんはレイをかけてもらい、フラスタジオ「マカナ」のフラダンスを鑑賞。その後、手の動きなどのレクチャーを受けながら、患者さん、御家族の皆さん、病棟スタッフや病院職員がみんなで歌いながら音楽に合わせて踊りました。

栄養給食科からはパンケーキやたこ焼き、フルーツポンチ、かき氷が提供され、ちょっとずつ食べて夏祭りの雰囲気を楽しみました。患者さん、御家族の皆さんの笑顔に癒されたスタッフ一同でした。

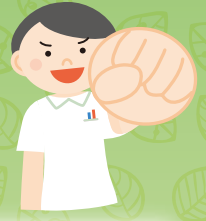
小松市民病院のホームページに緩和ケア病棟のページを追加しました。

ぜひ一度ご覧ください。





# わく・わく職場体験を受け入れました。



7月24日から26日にわたって中学生の職場体験を受け入れました。今年は、安宅中学校、松陽中学校、芦城中学校、そして福井の北陸中学校から男子3名、女子5名の参加がありました。

将来になりたい職業は様々で、医師、看護師、薬剤師、理学療法士を目指している中学生たちでした。

初日は病棟や外来を含めた院内の見学で、中学生は、緊張しながらも、興味深く見学していました。2日目、3日目は、自分のやりたい職業の体験です。医師希望の中学生は、心電図検査や超音波検査の体験や救急蘇生の実践。手術室では、手術衣を着用し、模擬の皮膚を使って、皮膚縫合の体験をしました。看護師希望の中学生は、入浴介助や血圧測定を体験したり、床ずれ防止のマットに実際に寝て患者体験もしてもらいました。薬剤師希望の中学生は、薬の内容を薬剤師と確認し調剤の体験をしました。理学療法士希望の中学生は作業訓練や車椅子の乗車、操作を体験しました。

中学生たちはわくわくしながら楽しそうに体験し、後半にはもっと体験したいという気持ちが膨らんでいる様子で、最終日は名残り惜しそうな様子でした。当院の職員は、自分の将来に夢を持った中学生たちが何年か後に当院で働いてもらっている姿を思い描きながら、一生懸命対応していました。



皮膚縫合体験



リハビリテーション室の説明



車椅子乗車、移送



手術用手袋の装着



専門外来  
紹介

## 睡眠時無呼吸外来

睡眠時無呼吸症候群(SAS : Sleep Apnea Syndrome)とは、睡眠時に何度も呼吸が止まる病気です。喉の辺りの空気の通り道が閉塞することが主原因で、大きないびきをかき、熟睡感がない、朝起きた時に頭痛がする等の症状があります。

また、血中の酸素不足により心臓や肺に負担がかかり、脳梗塞や心筋梗塞その他の合併症を引き起こす危険が高まります。



大きないびきをかき



熟睡感がない



朝起きた時に頭痛がする

このような症状がある場合は、睡眠時無呼吸症候群が潜んでいる可能性が考えられます。

専門外来は予約制になっています。受診希望の方は一度ご相談ください。

小松市民病院 地域医療連携室 ☎22-7111(代)

### 小松鋼機株式会社「鋼会」がボランティアで清掃奉仕活動のために訪れました。

平成29年6月24日(土)、小松鋼機株式会社「鋼会」(小松市光町)の皆さん70名余りが親子で当院の清掃奉仕のために訪れました。グループに分かれ、各階の車椅子や点滴棒、ストレッチャーの清拭や油拭き、また外来待合室の椅子や窓を清掃していただきました。どれもこれもピカピカになり動かしやすくなりました。暑い時期にもかかわらずお子さんたちも参加いただきました。

鋼会の皆様ありがとうございました。



### 「池坊全国華道会加盟校華道部生徒による高校生いけばなボランティア活動」が開催されました。



7月24日(月)から28日(金)にかけて、高校生による生け花の作品展が1階ロビーで開催されました。小松明峰高校、小松商業高校、小松高校、市立高校、小松大谷高校の皆さんが、日頃の部活動の成果を発表され、季節感あふれる作品に入院患者さんや、外来の方々は足を止めて見入っていました。



# 栄養だより



## 秋の小松食材の日

当院では毎月、小松で獲れた食材を使用した小松食材の日を設け、地産地消に力を入れています。今回は小松産の「かもり」を使用し、かもりの肉巻きを作りました。



### 「かもり」とは

7～9月に収穫し、貯蔵性に優れ、切らない状態のまま冷暗所保管で冬まで日持ちすることで冬瓜とも呼ばれる。味は控えめで、フセがないので、煮物や汁物、漬物、酢の物、あんかけ等様々な料理に用いることができる。

### 《かもりの肉巻き》 材料 (1人分)

豚ロース肉薄切り 70g	〈あんの調味液〉
かもり …………… 40g	中華スープの素 1g
エリンギ …………… 10g	水 …………… 15ml
赤ピーマン ……… 10g	醤油 …………… 4ml
小麦粉 …………… 1g	しょうが ……… 2g
サラダ油 …………… 2g	にんにく ……… 2g
コショウ …………… 少々	酒 …………… 2g
塩 …………… 0.5g	片栗粉 ……… 1g
ブロッコリー …… 30g	

- ① かもりは拍子切りにし、さっとゆでる。
- ② エリンギ・赤ピーマンは細切りにし、ゆでる。
- ③ ①、②を豚肉で巻き、塩・コショウを振り、巻き終わりに小麦粉を少量つけて止める。
- ④ 天板に油をひき、③を焦げ目がつくまでオーブンで焼く。
- ⑤ ブロッコリーをゆでる。
- ⑥ 調味液を合わせ、あんを作る。
- ⑦ ④を食べやすい大きさに切り、皿に盛り、あんをかけてゆでたブロッコリー添える。



## ハイネイゲルが採用になりました!

当院では様々な経管栄養(\*)を必要に応じて検討・採用し、患者さんの1日も早い回復に努めております。その一つの方法として、平成29年3月末に「ハイネイゲル」が採用になりましたので、その特徴と留意点を御紹介します。

### 〈特徴〉

- 外見は水様ですが、経管より注入され、胃酸と混ざることによりゲル化します。
- 水分補給の重要性に配慮し、他の栄養剤に比べ、100kcalに含まれる水分量は110ml (一般的な栄養剤の100kcalに含まれる水分量は40～80ml) と多い。

### 〈留意点〉

胃内に入ってから半固形化するため、胃内の条件が大きく影響し、胃酸の分泌量や酸度の違いによってゲル状に変化しない場合があります。

※経管栄養…経口的に栄養摂取が不可能な場合、あるいは経口的に摂取ができていても必要量を摂取することが困難な場合の栄養補給法の一つで、チューブを通して栄養や水分を補給する。



topics  
トピック

## 成年後見・障害年金無料相談会

当院では平成26年から毎年、一般社団法人社労士成年後見センター石川の社会保険労務士の皆さんによる成年後見・障害年金無料相談会を開催しています。今年も7月26日(水)に1階外来付近に相談ブースを3ヵ所設けて開催しました。

無料相談会は、病気や障害により自身で適切な判断や手続きができず、必要な制度・サービスの支援を受けることができない方や、家族がサポートできなくなった後のことを心配されている方、長期にわたる治療や介護にかかる経済的負担を抱える方に対し、専門家による助言を気軽に受ける機会になればとの趣旨で開催しています。

今年も13名の方が相談に来られました。相談内容は、障害年金や成年後見に関するものが多く、退職後の働き方や健康保険についての相談もありました。患者さん、家族の方のみならず、ケアマネジャーからの相談もあり、支援者もまた悩んでいる状況にあることがわかりました。

このような無料相談会は市民の皆さんにとって貴重な機会になっています。今後も社会保険労務士の皆さんの御協力を得て開催してまいります。

### 成年後見・障害年金 無料相談会

場 所：小松市民病院 小松市向本折町ホ60  
受 付：1階 地域医療連携室横  
会 場：1階 相談ブース  
日 時：平成29年7月26日(水) 午前10時～午後3時  
電 話：0761-22-7111

成年後見  
介護保険

障害年金  
就労支援



- 脳卒中、重い心臓病、進行した糖尿病、うつ病等を患い、治療費や生活費、勤務のことが心配な方
- 親の介護や頼りが一人暮らしで頼れる方がいない方
- 認知症・知的障害・精神障害などで成年後見制度を知りたい方

＜お気軽にご相談ください＞

年金・社会保障の専門家 社会保険労務士がご相談に応じます。

一般社団法人

社労士成年後見センター石川  
TEL:076-292-2066(ご予約可)  
後援：小松市民病院 石川県社会保険労務士会

## 市民公開講座の御案内

今年も市民公開講座の開催を予定しております。

と き：平成29年10月15日(日)13:00～

と ころ：小松市芦城センター(多目的ホール)

「男性のがん・女性のがん」をテーマに開催します。

参加は無料です。たくさんの皆さまの御来場をお待ちしております。



## 編・集・後・記

月日が過ぎるのが非常に早く感じるようになりました。ついこの前に人間ドックを受けたのに、早またその時期がやってきました。最近では睡眠をとっても体の疲れがとれないことが多くなりました。忙しいからと体のケアを怠っていると、大きな病気につながることもあります。1年に1度は健診や、人間ドックを受けましょう。私も、12月に人間ドックを受ける予定です。(澤田)



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60  
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155  
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>  
E-mail [cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp](mailto:cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp)